

分野	人家に対する地すべり対策急傾斜地崩壊対策		事業番号	11	事業名	地すべり対策				
市町村名	生坂村	ふりがな 箇所名	そでやま 袖山		事業年度 (完了年度は見込み)	H24	年度～	H27	年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	横ボ - リング工L=2800m 水路工L=590m 谷止工3基				H23年度末事業進捗率	0%			
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%			
	H24年度実施内容	横ボ - リング工L=600m 水路工L=100m				用地補償費ベース	0%			
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残				
	事業費計(千円)	140,000			30,000	140,000				
財源内訳	国庫支出金	70,000	0	0	15,000	70,000				
	その他					0				
	県債	63,000	0	0	13,000	63,000				
	一般財源	7,000	0	0	2,000	7,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
	必要性 (30)	保全対象人家数	10戸以上	1～9戸	0戸未滿	B	10			
		保全対象公共施設数	2箇所以上	1箇所	なし		5			
		保全対象災害時要援護者関連施設	重要施設	一般施設	なし		0			
		土砂の河川への流入量	10万m3以上	1万～10万m3	1万m3未滿		4			
			なし				0			
	小計				19					
	重要性 (10)	交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小	A	7			
		防災計画上の位置づけ	位置付けあり	位置付けなし			3			
		小計					10			
	効率性 (10)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上	B/C1.0以上1.5未滿	B/C1.0未滿	B	2			
		早期発現度	5年未滿	5年～10年	10年以上		4			
		代替案の検討	あり	なし			0			
		小計					6			
	緊急性 (40)	地すべり活動度	顕著な動きがある	軽微な動きがある	動きなし	A	30			
地すべり変状		変状あり	変状なし		10					
小計					40					
計画 熟度 (10)	地元の協力	反対意見なし	反対意見あり		A	5				
	地域からの要望	高い	それほど高くない			5				
	小計					10				
費用対効果(B/C)	1.3			評価の合計			A	85		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当区域は平成22年に村道でクラックが発生し、近隣を調査した結果、連続する亀裂や段差を確認した。また、他ブロックにも人家が傾く等地すべり活動の拡大兆候が見られ、地すべりが発生した場合はブロック内の人家だけでなく、河道閉塞により河川下流の人家、公民館(避難所)、県道、村道(避難路)等保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがある。このため、緊急的に恒久対策を行う必要がある。								
	地域からの要望経緯	平成22年7月に生坂村から、活発化した地すべり活動への対策を要望されている。近年地すべりが活発化し、町道、家屋への変状が顕著に表れてきたことから、地すべり対策の要望は高い。								
	事業説明等の経緯	平成16年の台風23号で部分的に地すべりが発生し、災害関連及び地すべり対策事業で平成19年度まで対策を行っている経緯がある。								
	環境・景観への配慮項目	地すべり防止施設は地中構造物が主であり、環境への負荷は極めて小さいと考えられる。								
	他事業・プロジェクトとの関連	地すべり末端部である(一)袖沢川の護岸が破損しているため、河川修繕事業との調整が必要である。								
特記事項	行政と地元住民とが一体となって事業を進めていくため、地元と意見交換会を実施していく。									
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	近年地すべりが活発化し、亀裂、段差等の活動が顕著で、保全対象である人家、避難所等への拡大兆候を示していることから、緊急性も高いため早急に対策を行う必要がある。			政策評価課 見	重要性、緊急性が高い。					